

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2016.9.1
Vol.112

【特集】

2016年特定非営利活動法人
日本BPW連合会総会
北九州大会

CONTENTS

- 巻頭挨拶
北九州大会を終えて
北九州クラブ会長 廣澤 洋子
- 日本BPW連合会北九州大会
 - 理事長挨拶・BPWI会長挨拶
 - 基調講演（概要）
 - 2016年BPWパートナーシップ・エバリュエーション賞
 - ヤング・スピーチコンテスト全国大会
 - 分科会報告
- 第7回日本BPW連合会総会
 - 「北九州宣言」を採択・提出

日本BPW連合会ニューズレター

発行人：名取はにわ

編集：広報委員会

日本BPW連合会 事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木

2-21-11 婦選会館 303

TEL. 03-5304-7874

FAX. 03-5304-7876

E-mail: office@bpw-japan.jp

ホームページ:

<http://www.bpw-japan.jp>

北九州大会を終えて

北九州クラブ 会長 廣澤洋子

2016年5月28、29日に、日本各地から多くの会員の方々のご参加を得て、特定非営利活動法人日本BPW連合会総会・北九州大会を無事に終わることが出来ました。担当クラブ会員一同、心からお礼申し上げます。

リーガロイヤルホテル小倉で開催された今大会にはBPW インターナショナル(BPW-I)からヤスミン・ダーウィッチ会長とアジア太平洋地域コーディネーターのスーザン・ジョーンズ氏のご出席があり、全国からの会員94名、来賓、スピーチコンテスト出場者、一般参加者やお手伝いの学生を含めると、合計248名の賑やかな大会となりました。

工業都市、公害の街としての歴史と、男性優位の荒くれた地域の印象がある北九州ですが、公害を克服して今はその技術をアジア各地に伝える都市になりました。大会会場の入口で地域の豊かな自然を題材とした地元の作家による花々が皆様をお迎えし、また北九州文学館館長による基調講演では、文学作品の中でその生き方を真剣に問うた先駆的な北九州の女性作家たちが紹介されました。それら柔剛併せ持つ土地柄が、今回の大会運営を担った会員たちのエネルギーになっていると思います。

キャンドルライトセレモニーでは、ステージ上の三色のローソクが今回は倍の6本となり、ヤスミン会長やジョーンズ氏も加わって点灯、同時に各テーブルの虹色のローソクに明かりが灯される演出となりました。出席者の心にも献身の努力と希望の光が輝いたのではないのでしょうか。

パートナーシップ・エバリュエーション賞は、行政が男女共同参画社会の実現と働く女性を支援する環境作りに、NGOと協力関係を築きながら取り組んでいる実績を評価して、北九州市の北橋健治市長に贈られました。

二日目の総会終了後に、BPWIのゲストを交えて「世界の女性のNGOが抱える課題と取り組み」をテーマに公開国際シンポジウムを開催し、会員、一般合わせて106人の参加がありました。アジア・太平洋地域では若い女性たちによるBPWなどのNGOが急激に増えているという報告や、リーダーシップについての質問に「いつでもリーダーとしてのバトンが受けられるように日頃の研鑽や準備が大切」というヤスミン会長からのアドバイスがあり、世界につながるBPW活動を実感することができました。

折しも、3年前の東日本大震災に続いて、九州の熊本・阿蘇・大分各地での地震がなかなか収束しない状態で、大会会場では支援募金をお願い致しました。その後も梅雨の豪雨がそれらの地域ばかりではなく、長崎・鹿児島にも被害を広げています。総会でも議論になりましたが、BPWの会員として出来る災害支援は何かを問い、小さな努力を継続していくことが大切であると感じました。

今回の貴重な経験をもとに、「リーダーシップと行動で変化を起こす」BPWの事業活動に取り組む中で、周辺地域やアジア、さらに世界への視点を大切にしたいと考えております。改めて大会へのご協力を感謝し、今後の交流、ご指導をよろしく願いいたします。



理事長挨拶

日 NPO 法人本 BPW 連合会理事長 名取はにわ



BPW は女性の社会参画を応援している団体です。伊勢志摩サミットでも女性の活躍が採択されましたが、私たちは 65 年以上前から「女性よ輝け」と活動を続けてきました。

私たちは 2030 年までに男女 50/50 を目指す「203050」を活動目標に掲げております。男女の賃金格差を見える化する「イコール・ペイ・デイ運動 (EPD)」や毎年 3 月に NY で開催される国連女性の地位委員会に、今年も若い女性 8 名をインターンとして派遣しました。

この北九州大会にあたり、BPWI 会長とアジア太平洋

地域コーディネーターの参加を心から歓迎いたします。また廣澤会長をはじめ北九州クラブの方々のご尽力に心から感謝申し上げます。

BPWI 会長 挨拶

BPW International 会長ヤスミン・ダーウィッチ

日本にご招待いただきありがとうございます。BPW Japan は BPWI の中でもとても重要な存在だと認識しており、長年のみなさんの活動をとても誇りに思っております。私たちは様々なバックグラウンドを持っていますが、その女性たちが集まって、世界の女性のためにという同じ最終目標を持って活動して行っています。私は日本語を話すことはできませんが、美しい言葉を知っています。「ありがとう」

基調講演

『北九州の女たち — 杉田久女と林芙美子 —』

講師：今川 英子さん（北九州市立文学館館長）

明治国家の「殖産興業」「富国強兵」政策を具現し、重工業都市として日本の近代化を牽引してきた「ものづくりの街」小倉が輩出した、二人の女性、日本の俳句の草分け的俳人の杉田久女、小説家林芙美子について紹介された。



杉田久女の一生は、芸術なものを追い求める一方で、内面化された良妻賢母的な生き方との戦いであった。彼女の作品を読み解きながら、当時の時代背景の中で女性がどのように戦ってきたか、戦わなければならなかったかについて、理解することができた。自らの句集を出したいと強く願いながら、その願いがかなわぬまま亡くなっていった久女の無念が心に響いた。

ベストセラーとなる放浪記を書いた林芙美子は、日中戦争に向かう日本において、南京陥落の際、女性の従軍記者第一号として現地に向かうなど、とても行動的な女性であった。彼女は戦時中の女性たちの姿を書かずにはいらなかった。

明治という時代、また北九州という土地を、二人の女性の生涯と作品から感じることができた講演であった。

<プロフィール>福岡県生まれ。日本女子大学大学院文学研究科修士課程修了。日本近代文学専攻、学習院大学 日本女子大学兼任講師。昭和学院短期大学助教授。北九州市立文学館副館長。北九州市企画文化局文化振興担当理事を経て、2012 年 4 月より現職。

2016 年 BPW パートナーシップ・エバリュエーション賞

北九州市長 北橋 健治 氏

2016 年日本 BPW 連合会山形大会のパートナーシップ・エバリュエーション賞は、北九州市長 北橋健治氏に贈られました。

◆北九州市長 北橋 健治 氏◆

市長着任当時は、市役所における女性管理職の割合や女性役職者の割合が、政令指定都市の中でも最低レベルでした。北橋市長は、このような現状を見て、政策決定過程に大きな課題を抱えていると感じ、まずは市役所内部の女性活躍推進に取り組むことを決意され、2013 年には「女性管理職数 (行政職) を 2018 年度までに 50 人にする」という目標を 5 年前倒して達成しました。

北橋市長は、子育て支援とともに働き方の見直しにも力をいれており、「イクボス」の育成や、ワーク・ライフ・バランスの推進などにも、積極的に取り組んでいます。

第 13 回 ヤング・スピーチコンテスト

13 回目となった今年も、全国の 5 つのブロックから選出された、様々な分野で仕事を持つ女性が素晴らしいスピーチを披露しました。

最優秀賞 木村 彩子さん (北海道・東北ブロック代表)

理事長賞 竹内 いつみさん (近畿ブロック代表)

ヤング BPW 賞

時田 希さん (中部ブロック代表)

西山 純理さん (西日本ブロック代表)

※関東山梨ブロック代表の関野里美さんは、残念ながら仕事の都合で欠場されました。

分科会報告 「203050の実現を目指して」

分科会A

気づこう：あなたの周りのギャップ ～男女格差指数(GGGI) 101位/145ヶ国の現実～

コーディネーター：平松昌子(東京クラブ)

参加人数：35名(会員35名)

目的 日本は男女の格差が多いといわれている。2030年までに男女の平等を実現するために、『あなたの周りにあるジェンダーギャップ』に気づいて、どうしたらいいのかを考えてみる。

討議内容 参加者に対して、身の回りで男女格差を感じているか？、男女平等であると思うか？教育における男女格差はあると思うか？衆議院に占める女性議員の割合は？男女の賃金格差は？などについてのアンケートを行った。その解答から、男女格差の実態に気づいた上で、15年後に完全な男女平等 203050 を実現させるためにどうしたらいいのか、政治、経済、教育の分野に分かれて話し合った。

提言

1. 教育 希望を持てる社会にするための教育が必要で政治に関心持つ常識のある人を増やすこと
2. 経済 男女間の同一労働、同一賃金を徹底させ、取締役にもクォータ制を導入すること
3. 政治 議員選挙にクォータ制の導入すること
地域で女性議員を育てること

分科会B

考えよう：203050の実現を目指して～グループ討議で課題・解決策を～

コーディネーター：岡内須美子(香川クラブ)

参加人数：32名(会員28名、一般4名)

目的 世界の潮流である(50-50)の実現のために、この分科会はより多くの人々が気づき、「考える」ことを中心に、お互いの立場や意見を聞きながら、より具体的な解決策を探ることを目的とした。

討議内容 ①政治②経済③保健④教育の4分野について、グループに分かれ、KJ法により問題点を抽出し、解決法について検討した。

提言

1. 意識の改革…男女共に子どもの時から家庭や学校教育の中で平等教育の実践・キャリア教育の充実を図る。
2. 制度の改革…罰則規定を強化してでも、職場での平等、育休介護休暇制度の取得を推進する。
3. WEPsの普及…女性の活躍の場を拡げる。
4. 長時間労働の禁止…男女ともに長時間労働は美德ではない、との認識を持ちワーク・ライフ・バランスを心がける。
5. 経済行動の変革…正しい消費能力を学び正しい消費行動(フェアトレード)に移す。

6. 同一価値労働同一賃金の徹底…イコール・ペイ・デイ運動を推進し、認識を図る。

分科会C

動こう：北九州発！あらゆる世代への働きかけ～あなたと始める明日への変革～

コーディネーター：花崎正子(北九州クラブ)

参加人数：33名(会員22名、一般11名)

目的 203050を実現するには具体的にどのような「行動」すればよいのか。特に「北九州発！」として討議を行った。

討議内容 ①政治②経済③保健④教育の4分野のグループに分かれ、課題解決策を討議した。その際、「北九州市における女性の活躍推進実態と女性管理職の割合(北九州市調査)」等を参考資料とした。

提言

1. あらゆる世代が、すべての領域で、相互に連携しに行動を起こすこと。
2. あらゆる世代で、あらゆる機会・場を利用し、意識変革のための徹底した「男女平等教育」を実施し、その教育方法には行動主体自らが、考え、自己変革を促すアクティブ・ラーニングの導入を図る。
3. 議員選挙におけるクォータ制の法制化のために、一人ひとりが主権者意識を高めること。
4. 政治・経済分野でリーダーとなる女性の育成とそのサポート体制をつくり、女性自身も進んでリーダーとなること。
5. 雇用における男女平等化を実現するために、女性がいつでも、働けるように環境整備を行うように働きかける。
6. 家庭における男女平等の推進を具体的に図る。
7. 女性自らが主体性を育み、男女相互及び女性相互が配慮・協力し、男女平等実現に努める。
8. 声を上げ続けること、行動を起こし続けること。「今からすぐ行動を起こす」ことである。



男女共同参画社会の実現に向けて、北九州宣言を採択 北九州宣言 203050 の実現を目指して

特定非営利活動法人
日本 BPW 連合会第7回総会
議長/岡田知子
副議長/高見佳代子
書記/池田美幸・内山信子
(全員北九州クラブ)
会員数 302 名
委任状を含む出席者数 284 名

《総会議題》

- 第1号議案 議事録署名人の選出
議事録署名人に岡田知子議長、
名取はにわ理事長、廣澤洋子理
事を全員一致で選出
- 第2号議案 議題の承認
全員一致で承認
- 第3号議案 2015 年度事業報告
- 第4号議案 2015 年度会計報告
- 第5号議案 2015 年度監査報告
3～5 号議案、質疑応答の後、
全員賛成で承認
- 第6号議案 2016 年度統一テーマ・
活動方針(案)
- 第7号議案 2016 年度事業計画
(案)
上記 2 議案を一括して表決し、全
員賛成で可決
- 第8号議案 2016 年度予算(案)
表決の結果全員賛成で可決
- 第9号議案 理事の承認
専務理事が提案し、表決の結果
全員賛成で可決

＜クラブ代表理事交代＞

東京クラブ/新:林智意氏、
旧:村田美夏氏
福岡クラブ/新:三浦佳代氏、
旧:久保カヨ子氏

＜退任＞

岸田光代氏(熊本クラブがアソシ
エーツに改組)、
荒弘子氏(旭川クラブ退会)

□その他

東日本災害復興支援寄付金の残
金について、国内外の災害支援対
策基金とする、との提案に対して、
各クラブに持ち帰って検討の上、9
月の理事会で意見を出し合い、結
論を出すことが賛成282、反対2で
承認された。

編集後記:北九州大会の詳細につ
きましては、後日 HP や会報で報告
させていただきます。

日本 BPW 連合会は、2016 年 5 月 28 日の北九州大会において、『203050
の実現を目指して』をテーマに議論を重ね、以下の宣言を採択する。

私たちは ～男女格差指数(GGGI) 101 位/145ヶ国の現実を踏まえ、男
女ギャップが大きいことを認識し、2030 年までに完全な男女平等(50-50
フィフティ・フィフティ)の実現のため、以下の取り組みについて、これを支援し、
共に活動を加速させることを求める。

政治において 一女性の政治参画のために一

- クオータ制の導入(法整備の実現)
- 政治に興味を持たせる学校教育・社会教育
- 女性のための候補者育成組織を増やす
- 議員のワーク・ライフ・バランスの実現
- 政党助成金を、女性の議員比率による傾斜配分にする

経済において

- 女性活躍推進法の適用範囲の拡大、罰則規定導入の実現
- 同一価値労働同一賃金の徹底を図り、男女の賃金格差を解消する、
長時間労働を禁止し、女性のキャリアアップを促進する
- 育児・介護は社会が支えるという視点に立って、両立支援策を推進する
- WEPs の普及により女性の活躍を広く促進する
- 取締役性にクオータ制を導入するなど、具体策の実施

教育において

- 高等教育における男女格差が大きいことを周知し、女性の進学率を高める。
- 女性に対する奨学金制度にインセンティブをつける
- 家庭・学校・地域での男女平等教育の徹底、
女性の人材育成・キャリア教育・リーダー養成
- 意識改革のために、女性活躍に成果を上げた男性をリアルモデルとして広く
紹介する

採択された「北九州宣言」は、名取はにわ理事長らにより 6 月 15 日
に武川恵子内閣府男女共同参画局長、吉本明子厚生労働大臣官房審議官
に、16 日に有松育子文部科学省生涯学習政策局長に手渡された。

《公開シンポジウム》:「女性 NGO が抱える課題と取り組み 9 月 2 日 13:30～ 世界の女性 NGO リーダーに聞く～」

■Part1 は、ヤスミン BPWI 会長、スーザンアジア太平洋地域コーディネータ
ーからご自身のこれまでの活動や現在の役割などについてのスピーチ。
会長からは、自身が若い頃世界大会に参加したことが大きな転機となつた
というエピソードから、若い人に世界に出てもらいたいというメッセージが語
られた。また Part2では、布柴靖枝文教大学教授から、国連における女性
政策の動向について NGO との関わりを中心に情報提供いただいた後、平
松昌子企画委員長、布柴氏の質問にヤスミンたちが答える形でトーク&ト
ークが進められた。リーダーシップについて、ヤスミン会長は、最も重要な
のは「情熱」である、と述べ、スーザンは、オーストラリアで行われている、
SNS を活用したメンタリングを紹介。若い世代の会員を増やすことや資金
確保の問題など、世界でも同じ課題を抱えたクラブがたくさんあるけれど、
情熱を持ってチャレンジすることで BPW Japan の発展を期待している、とい
う二人からの力強いメッセージを感じることができた。